

個人投資家向け会社説明会資料



2025.02.26 (水)



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

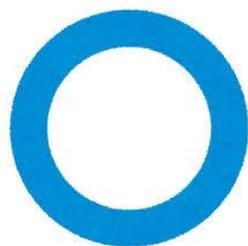
静岡県袋井市浅羽3711 TEL : 0538-23-6111
ホームページ : <https://www.tenryu-saw.com>

1. 会社概要 (P.2～P.10)
2. 当社の特徴・強み (P.11～P.14)
3. 株式情報 (P.15～P.17)
4. 中期経営計画 (2024～2026年度) (P.18～P.29)
5. サステナビリティ (P.30～P.39)
6. トピックス (P.40～P.44)



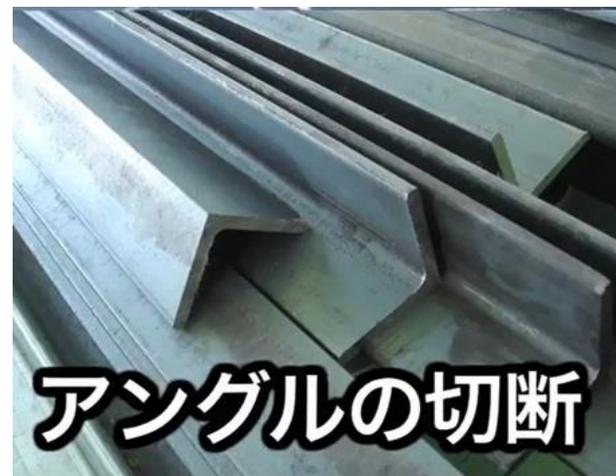
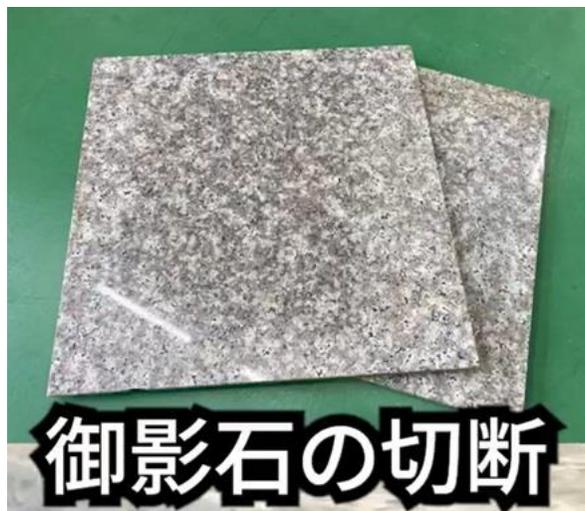
1. 会社概要

てんりゅうせいぎよ
天龍製鋸
株式会社



丸鋸でこんな材料を切っています

動画をご覧ください。
(1分30秒程度)



社名 : **天龍製鋸株式会社**

(東証スタンダード市場 証券コード 5945)

設立 : 1913年 (大正2年) 10月

事業内容 : ①鋸・刃物類の製造、加工及び販売
②製材・石材・鉄鋼・農業用等の機械器具の製造、
加工及び販売

資本金 : 581百万円

代表者 : 代表取締役社長 大石高彰

従業員数 : 204名 (グループ合計972名) (2024年9月30日現在)

所在地 : 〒437-1195 静岡県袋井市浅羽3711番地

電話番号 : 0538 - 23 - 6111

1. 会社概要【沿革】



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

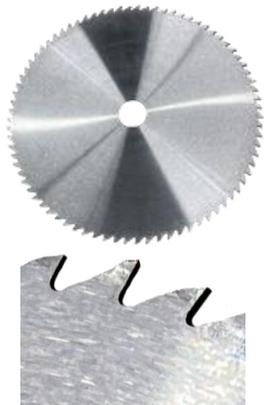
1913年（大正2年）
天龍製鋸株式会社を
設立する。



初代社長 鈴木信一
金原明善の第一門弟で
金原四天王の一人と
言われた。



1960年（昭和35年）
電動工具用丸鋸の生産を開始する。



1988年（昭和63年）
株式を東京・
名古屋
両証券業協会の
店頭に登録。

2007年（平成19年）
ISO14001
（本社・工場）を
認証取得する。



2023年（令和5年）
設立110周年

2013年（平成25年）
設立100周年を
迎える

2022年（令和4年）
東京証券取引所の
市場区分の変更に
伴い、スタンダード
市場へ移行。



1962年（昭和37年）
チップソーの量産を開始する。



刃先に超硬チップをロー付し、研磨。

1922年（大正11年）
当社社員2名を英国に派遣(1920年)。
木工用丸鋸の製造方法を修得し、
帰国後に国産丸鋸第1号完成。



1. 会社概要【国内拠点一覧】



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

■ 本社および本社工場 ■ 生産拠点 ● 販売拠点

本社および本社工場
(静岡県袋井市)



大牟田工場
(福岡県大牟田市)

秋田支店
(秋田県秋田市)



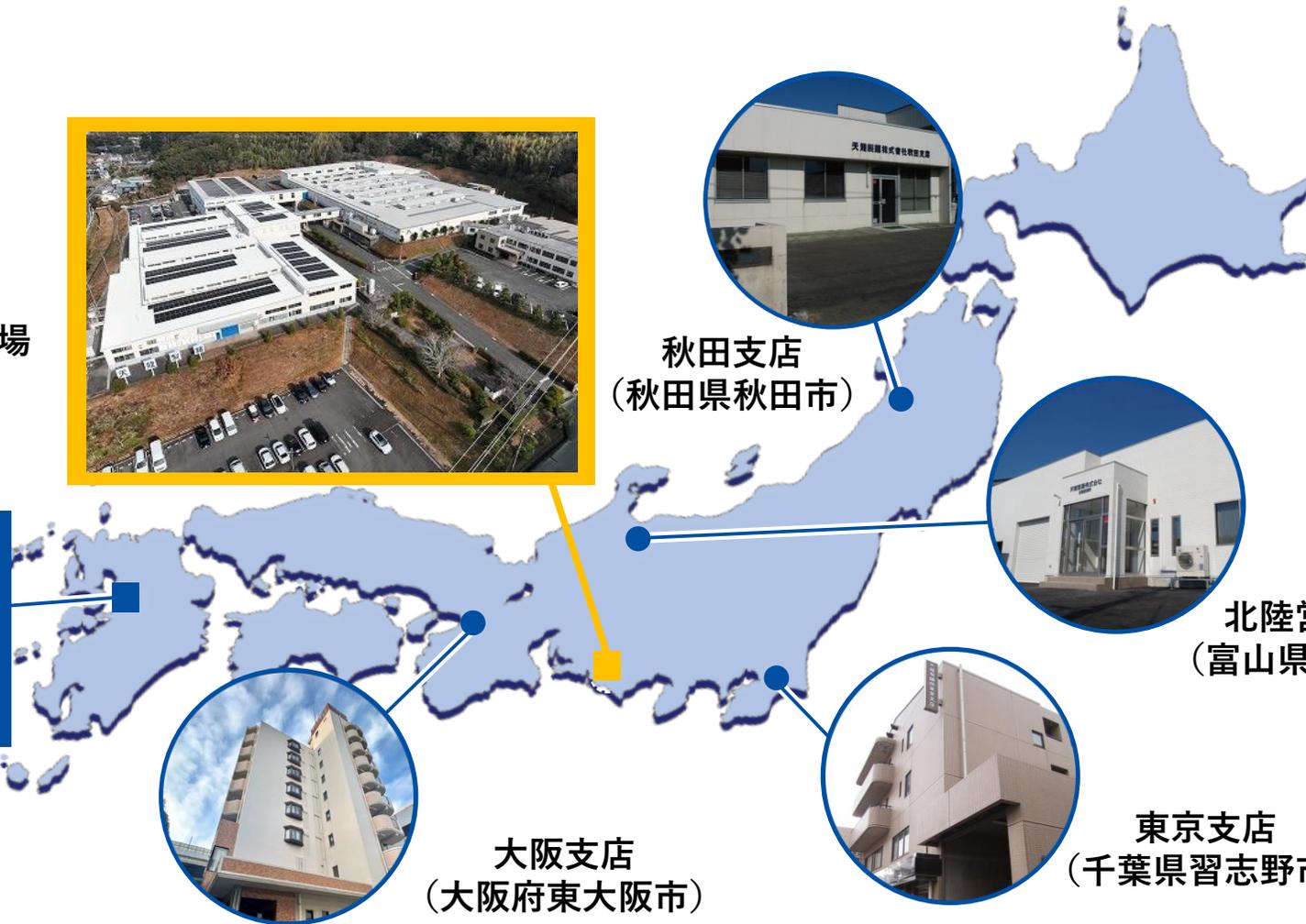
北陸営業所
(富山県富山市)



大阪支店
(大阪府東大阪市)



東京支店
(千葉県習志野市)



1. 会社概要【海外拠点一覧】



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

■ 生産・販売拠点 ● 販売拠点



1. 会社概要

【連結経営成績の推移①】

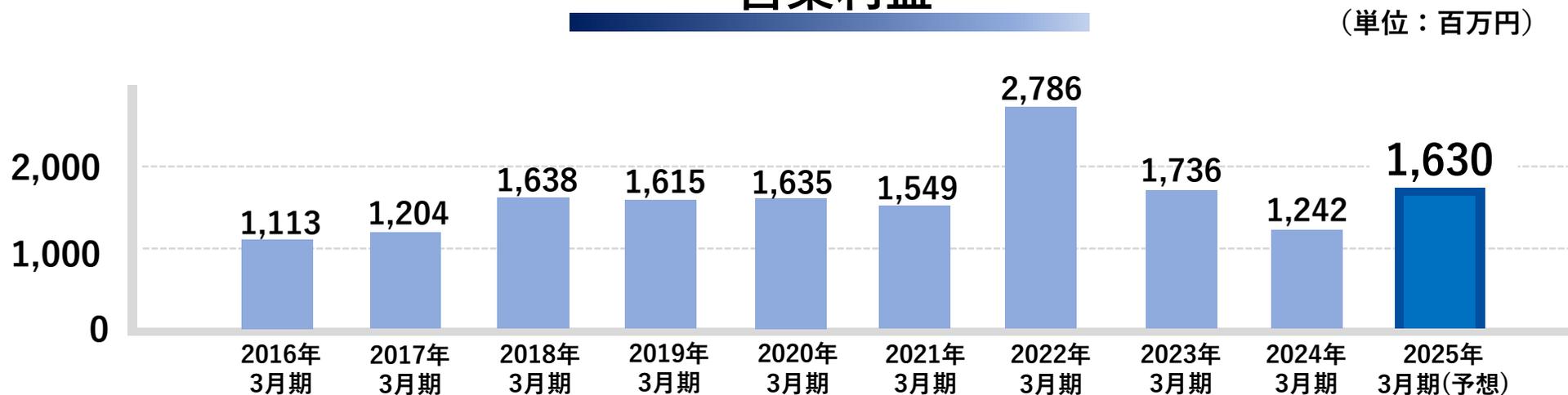


天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

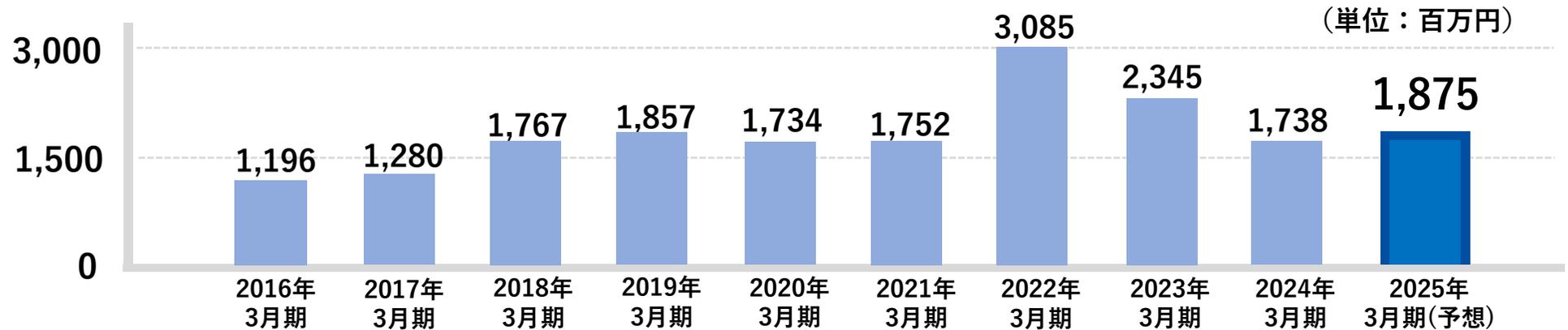
売上高



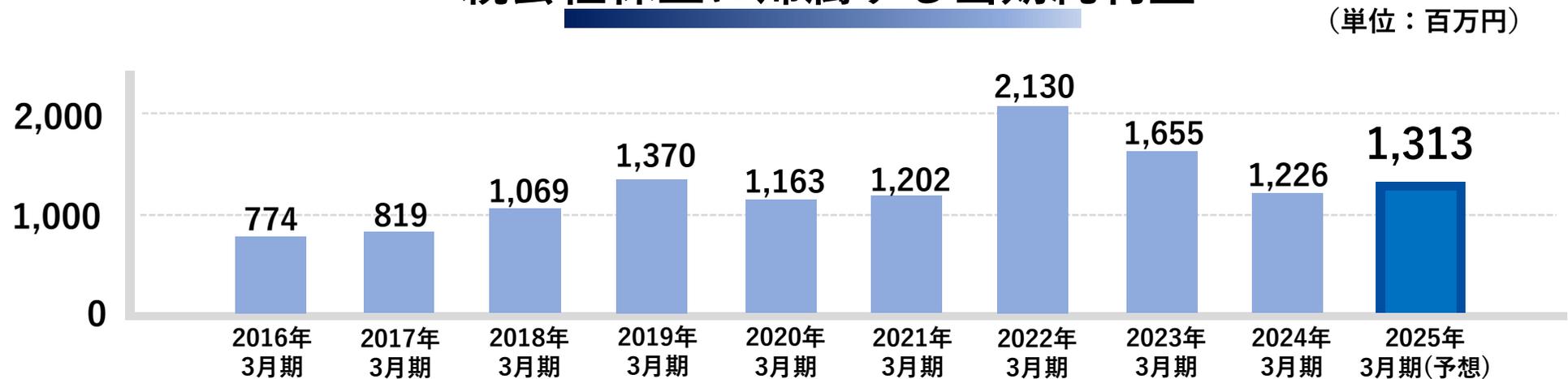
営業利益



経常利益



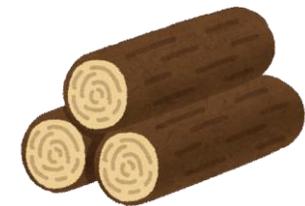
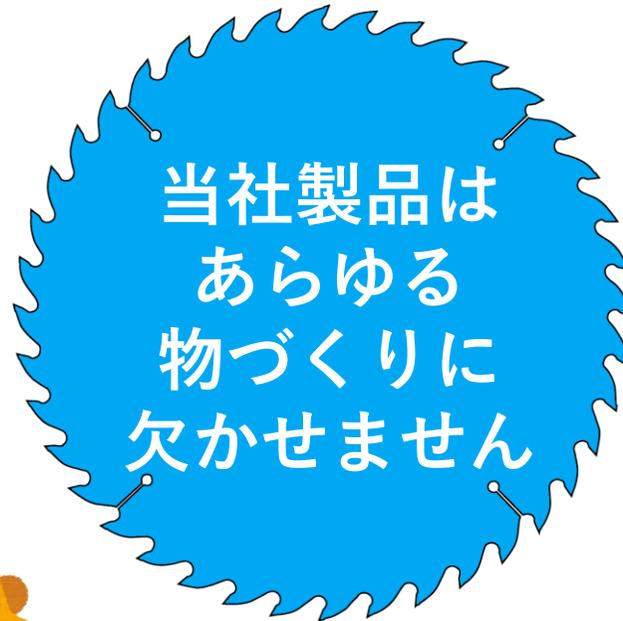
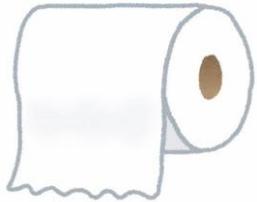
親会社株主に帰属する当期純利益





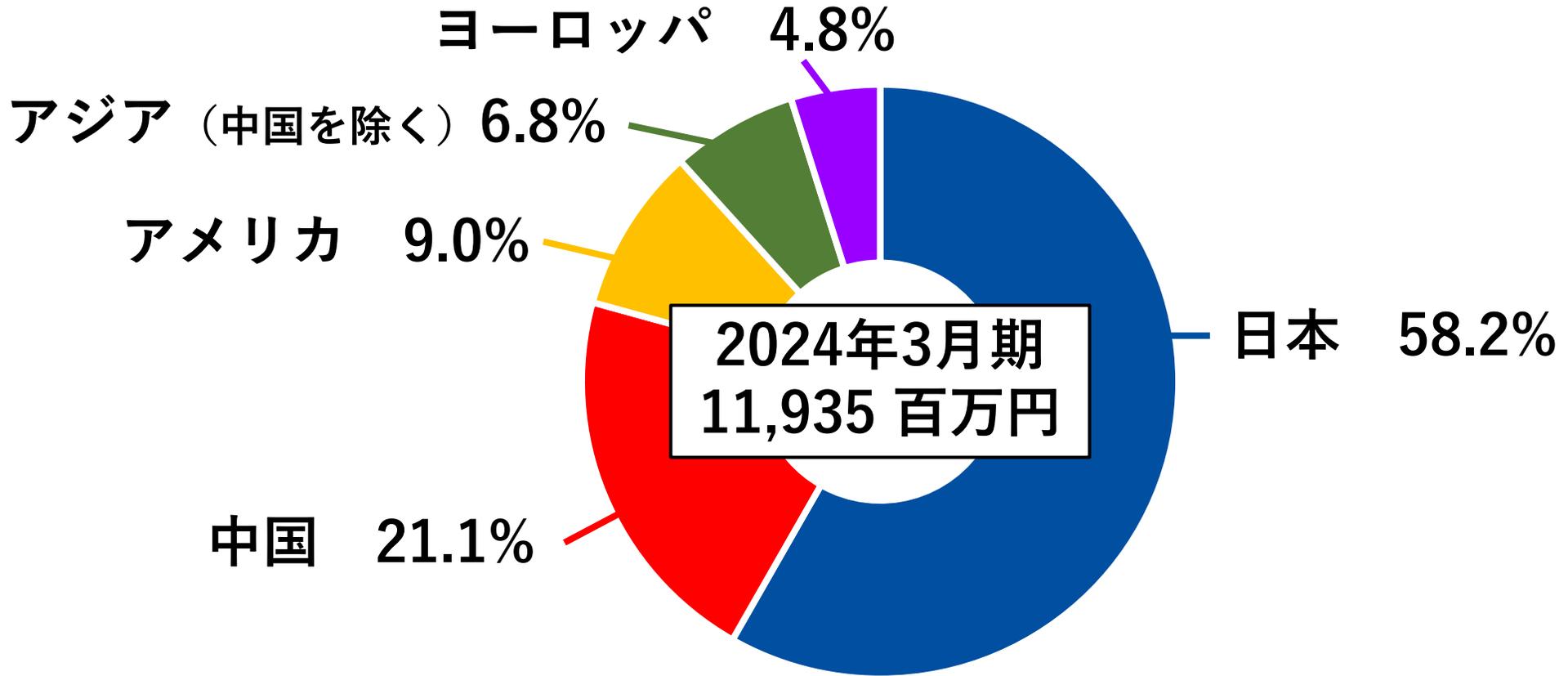
2. 当社の特徴・強み

被削材対象例



...etc.

セグメント別売上比率



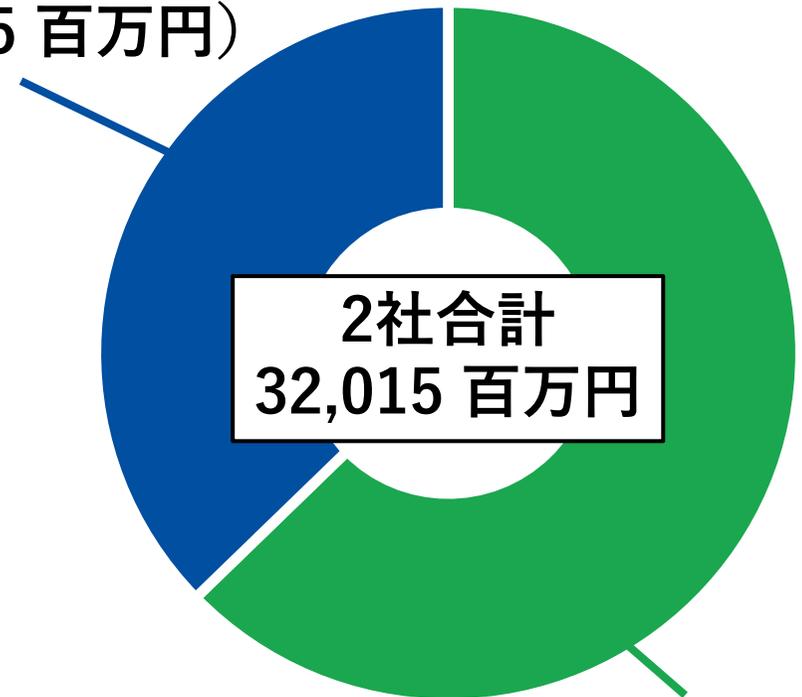
天龍製鋸について

原材料の加工から製品の完成に至るまで、一貫した生産を行っておりますので、最適な仕様の刃物を供給することが可能です。そのため、多くの機械・工具メーカーの切断機に取り付けられる純正品として採用いただいております。高い信用・信頼を得ていると自負しております。

業界株式公開会社2社のシェア

(2024年3月期連結売上高ベース)

天龍製鋸 37.3%
(11,935 百万円)



兼房 62.7%
(20,080 百万円)



3. 株式情報

3. 株式情報【株主還元①】



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

16

株価 1,877円 (2月18日時点)

時価総額 17,052 百万円

年初来高値

年初来安値

2,000円
(2024年7月25日)

1,610円
(2024年3月13日)

2024年3月期実績

配当金 一株当たり 55円

配当性向 41.5%

配当利回り 3.27%

株主数 1,593 人

2024年3月末時点

ROE 3.71%
(自己資本利益率)

PBR 0.45倍
(株価純資産倍率)

3. 株式情報【株主還元②】

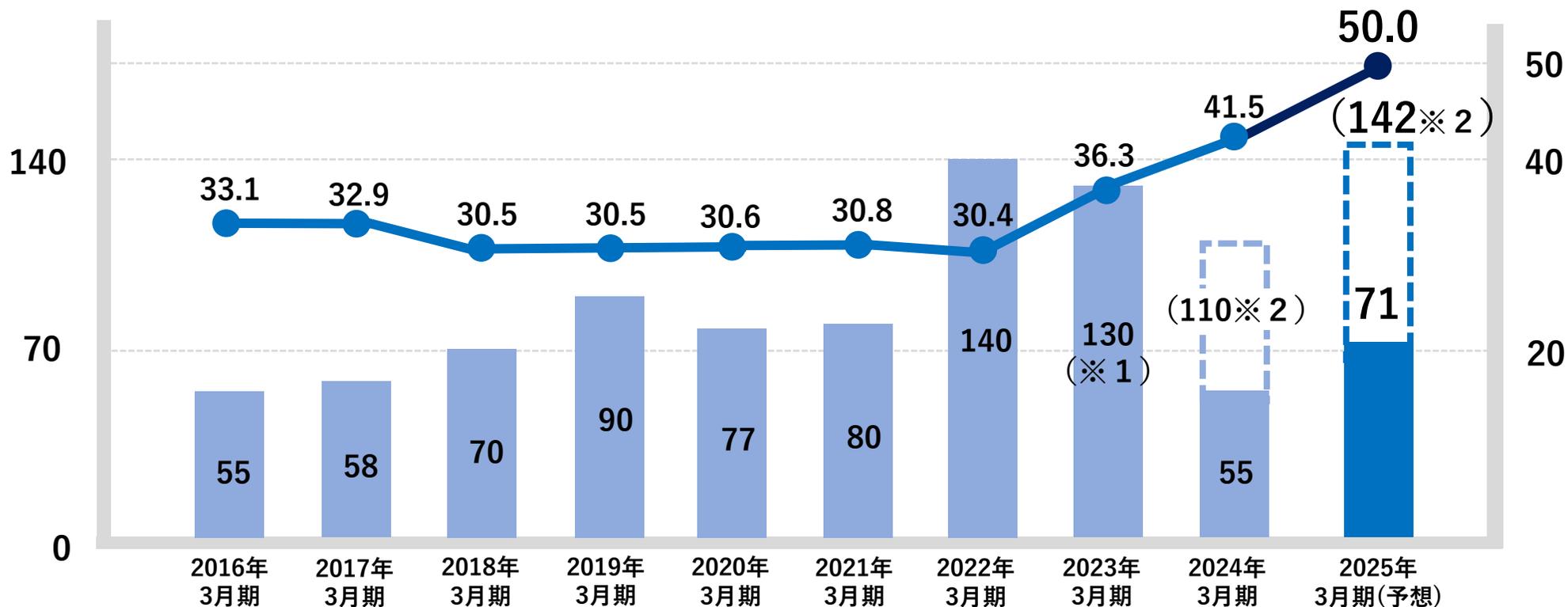


■ 配当金 ● 配当性向

配当金／配当性向

(単位：円)

(単位：%)



※1.うち20円は110周年記念配当

※2.当社は2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っているため、()内の金額が実質的な配当金となります



4. 中期経営計画（2024～2026年度）

4. 中期経営計画（2024～2026年度） 【数値目標①】



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

19

開示日 2024年5月14日

	2023年度実績	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標	2026年度目標の 2023年度実績比
売上高 (百万円)	11,935	13,000	13,800	14,000	17.3%UP
営業利益 (百万円)	1,242	1,630	1,830	2,100	69.1%UP
営業利益率	10.4%	12.5%	13.3%	15.0%	44.2%UP

4. 中期経営計画（2024～2026年度）

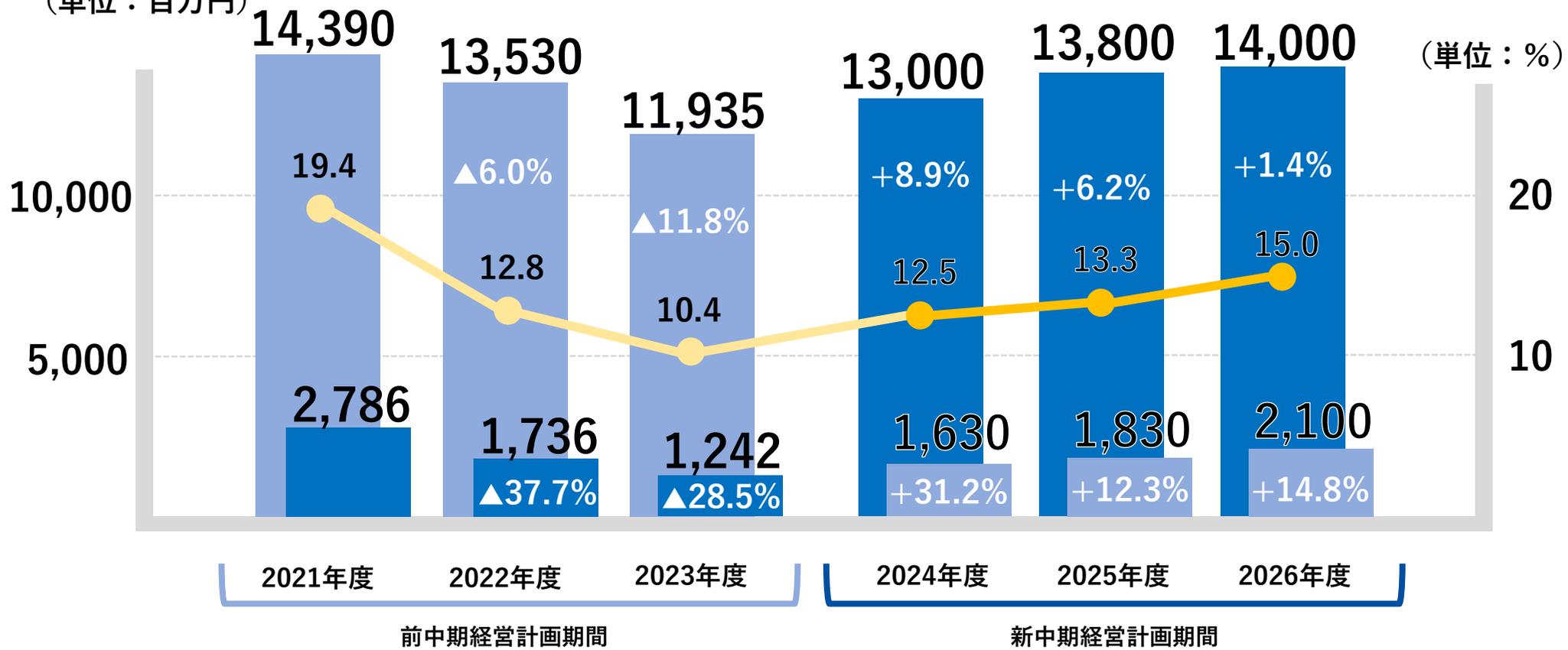
【数値目標①】



売上高
 営業利益
 営業利益率

(単位：百万円)

(単位：%)



4. 中期経営計画（2024～2026年度）

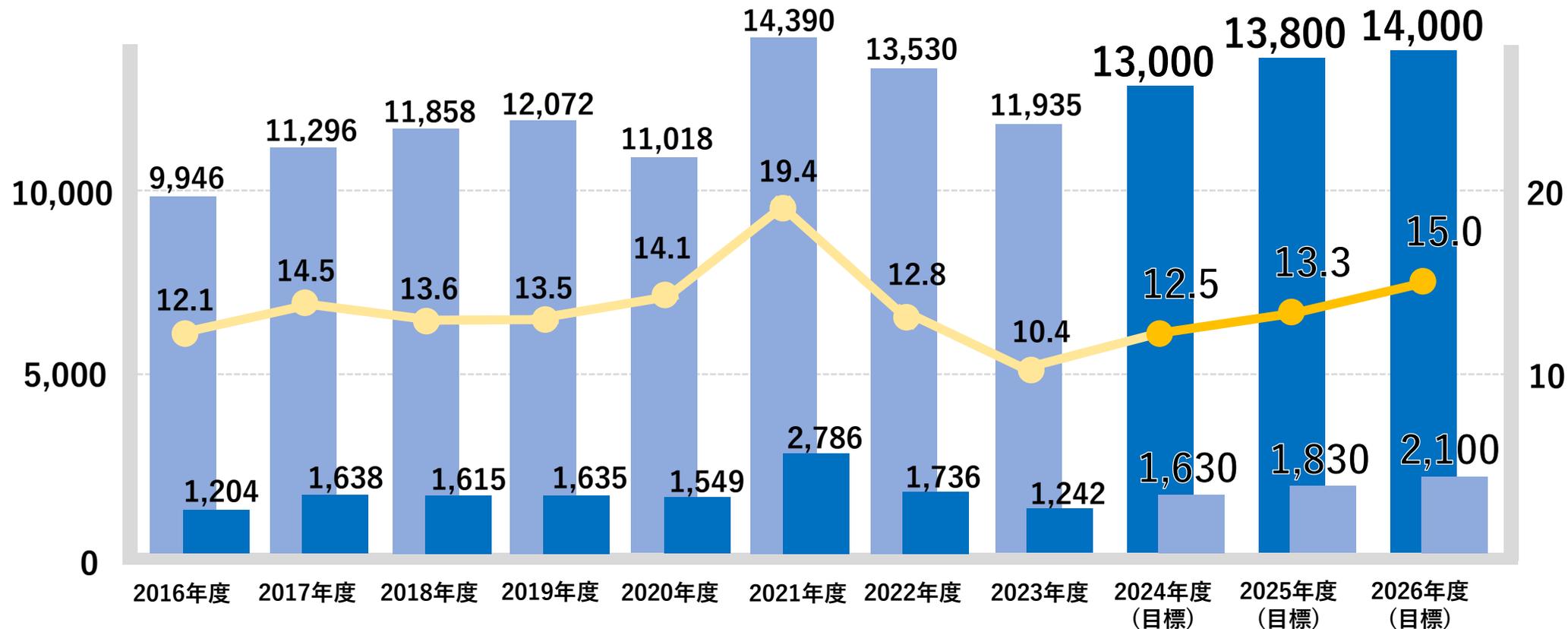
【数値目標①】



売上高
 営業利益
 営業利益率

(単位：百万円)

(単位：%)



新中期経営計画期間

4. 中期経営計画（2024～2026年度） 【数値目標②】



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

22

開示日 2024年5月14日

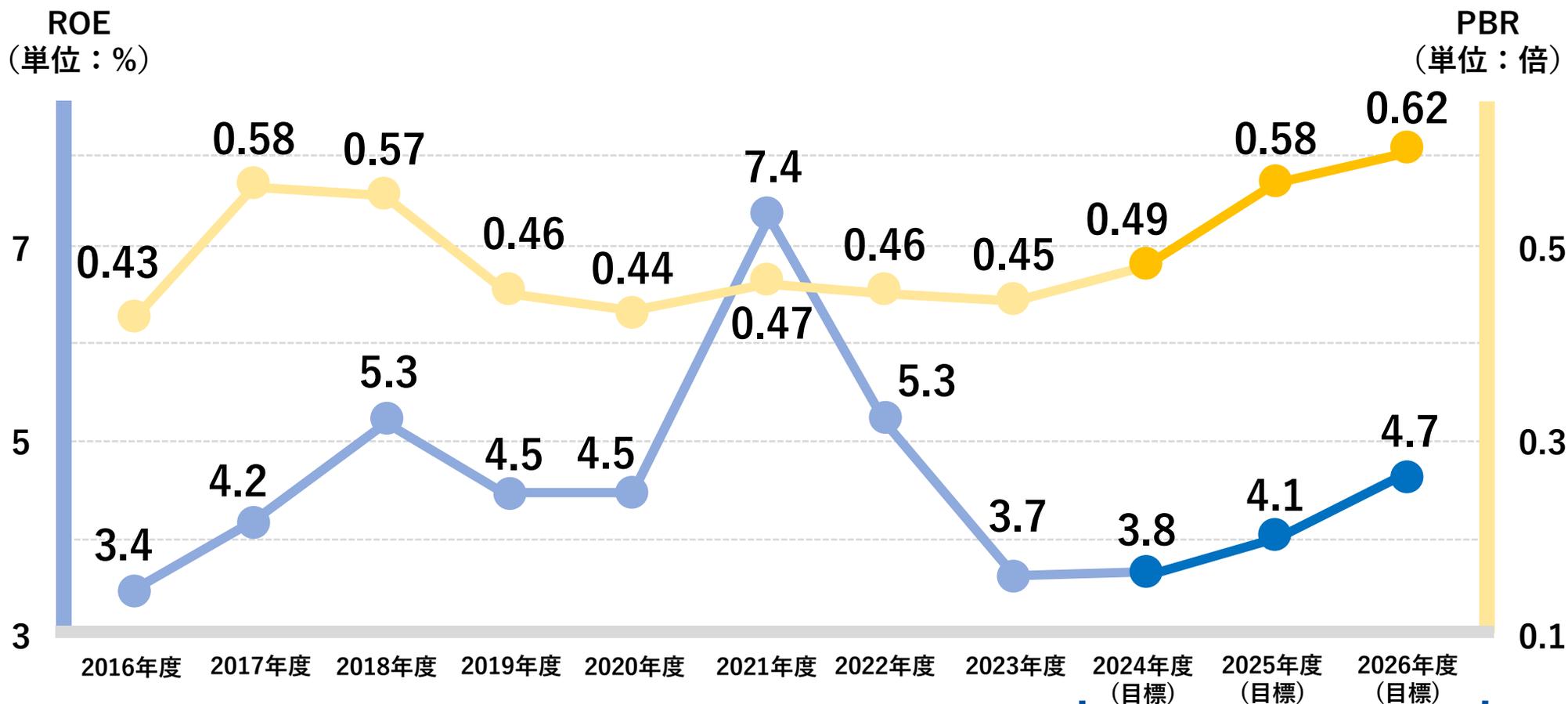
	2023年度実績	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標	2026年度目標の 2023年度実績比
ROE (自己資本利益率)	3.7%	3.8%	4.1%	4.7%	27.0%UP
PBR (株価純資産倍率)	0.45 倍	0.49 倍	0.58 倍	0.62 倍	37.8%UP
連結配当性向	41.5%	50%以上	50%以上	50%以上	20.5%UP

4. 中期経営計画（2024～2026年度）

【数値目標②】



● ROE (自己資本利益率) ● PBR (株価純資産倍率)



新中期経営計画期間

重点戦略 1

前中期経営計画からの継続課題として、環境負荷の低減に寄与する新製品の開発及び既存技術の向上を追求します。

重点戦略 2

CO₂ 排出削減を図るため新規設備投資を実施し、脱炭素生産の確立を目指します。

重点戦略 3

グローバル市場に対応する販売・技術サポート体制を強化し、環境に配慮した製品及び高付加価値製品の拡販を図ります。

重点戦略 4

人的資本経営、ウェルビーイング経営を実現するために、ハード・ソフト両面から就業環境の整備や健康増進策を実施します。

重点戦略1

前中期経営計画からの継続課題として、環境負荷の低減に寄与する新製品の開発及び既存技術の向上を追求します。

- ▶ チップソーの刃先の厚さを薄くすることにより歩留まりの向上及び切断時の電力使用量の削減に繋がられたが、さらなる生産技術の向上を図り環境負荷低減製品の開発を継続する。
- ▶ 環境に配慮した原材料の見直しや梱包・副資材の脱プラ・エコ化を一層推進する。

重点戦略2

CO₂ 排出削減を図るため新規設備投資を実施し、脱炭素生産の確立を目指します。

- ▶ 設備の非化石エネルギーへの転換によりCO₂ 排出量を削減する。
- ▶ 主力製品への設備投資を積極的に行い自動化・省電力化を推進する。

重点戦略3

グローバル市場に対応する販売・技術サポート体制を強化し、環境に配慮した製品及び高付加価値製品の拡販を図ります。

- ▶ 営業業務におけるDX化を推進し業務効率の向上を図る。
- ▶ 販売・製造・開発の情報共有化を一層強化し市場ニーズにタイムリーに対応する。

重点戦略4

人的資本経営、ウェルビーイング経営を実現するために、ハード・ソフト両面から就業環境の整備や健康増進策を実施します。

- ▶ 本社事務棟の建替えや老朽化施設の躯体・設備の点検、補修、交換を行う。
- ▶ 階層別及び職位別研修の開催など研修体系・体制の構築をさらに図る。
- ▶ 各部門にて業務フローの見直しを行い、IT化の推進により業務効率の向上を図る。

株主還元の強化の一環として、自己株式取得を実施しました。

▶ 自己株式取得の状況

2025年2月12日 200,000株（374,600,000円）を上限とする
自己株式取得を開示

取得対象株式の種類	当社普通株式
-----------	--------

取得した株式の総数	170,200株
-----------	----------

取得価額	318,784,600円
------	--------------

取得日	2025年2月13日
-----	------------

今後も資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、株主還元の強化に努めてまいります。



5. サステナビリティ

ガバナンス

当社グループは、サステナビリティに関する取組みが重要な経営課題であると認識し、『誠実と和』という「社是」のもと、「経営理念」、「企業行動規範」、「環境方針」及び「SDGsの取り組み方針」を制定し、気候変動などの地球環境問題への配慮、人権の尊重、従業員の健康・労働環境への配慮や公正・適切な処遇、取引先との公正・適切な取引、自然災害等への危機管理などに対する考えを含め、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献できる体制を構築しております。

サステナビリティ委員会の設置（2022年4月1日）

委員長：代表取締役社長

委員：取締役・監査役（社外を含む）

サステナビリティにかかわる経営の基本方針を定め、必要に応じて従業員や外部アドバイザーを招へいし、推進活動の基本計画を立案します。

感謝の心をもって、従業員の幸せと株主の幸せを追求し、 社会の幸せに結びつけます

感謝の心

- ・ ・ ・ 私たちが今日働けることは、お客様や取引先、職場の仲間、家族など周囲の多くの人々の支援があるからこそ成り立っています。常に周囲への感謝の気持ちを持ち続けます。

従業員の幸せ

- ・ ・ ・ 従業員が健康で自分の仕事に誇りを持てる環境をつくるとともに、安定した財務体質を維持します。

株主の幸せ

- ・ ・ ・ 企業価値の持続的な向上を目指し、安定した株主還元に努めます。

社会の幸せ

- ・ ・ ・ 国連が提唱する「SDGs」に賛同し、健全な事業成長を通じて持続可能な社会の実現に努めます。

中期経営計画

- ◆環境負荷の低減に寄与する新製品の開発及び既存技術の向上
- ◆脱炭素生産の確立
⇒CO₂ 排出削減を図るための新規設備投資の実施

人的資本経営、リスクینگ

- ◆管理職の文章能力やコミュニケーション能力などの基礎的な能力の向上、リーダーシップ強化
⇒一般職向けにも取り組み拡大
- ◆WEB研修ツールの導入
⇒自己啓発と業務研修の両面で利用可能

ウェルビーイング経営

社内環境の改善

- ◆健康経営優良法人認定取得（2019年から6年連続）
- ◆育児・介護休業等の制度の拡充
- ◆人事評価・再雇用制度の見直し

多様化への対応

- ◆女性活躍推進プロジェクト発足（2023年）
男女7名ずつ総勢14名で毎月会議を開き、会社側へ上申書等を提出

女性事務員の制服を変更

従来のスカートに加え、パンツスタイルを選択可能にすることで働きやすさと動きやすさを向上

エンゲージメントの強化

- ◆エンゲージメントサーベイ
半期に1回の定期的なサーベイを実施し、従業員の満足度向上を目指す

回答者の約78%

仕事で新しいことを学ぶ機会がある

5. サステナビリティ 【環境配慮型製品】



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

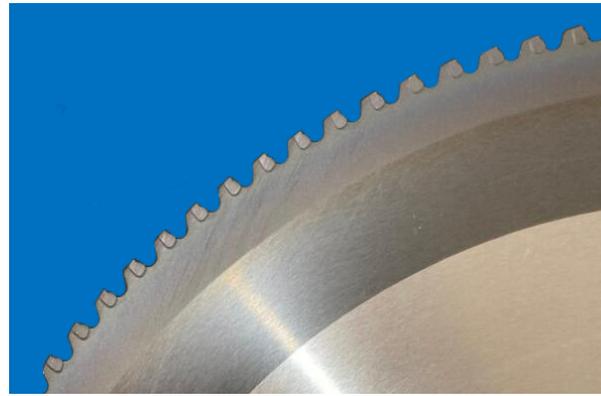
34

スリット入り鋸刃



スリットにより音と振動を小さくする
音が小さいことで作業環境がよくなり、振動が少ないことのできれいな切断面を実現

コーティング鋸刃



刃先にコーティング加工を施すことによって刃先超硬チップの耐摩耗性を向上させ、鋸刃の長寿命化を実現

薄鋸刃



薄鋸化により被削材料の歩留まり向上および切断時電力使用量削減を実現

5. サステナビリティ 【SDGsへの取り組み①】



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

35

3年連続
計60台寄贈

草刈機寄贈



本社所在地である袋井市へ感謝の気持ちを込めて、
(株)マキタ社製充電式草刈機を贈呈しています。

- ・ 2022年3月 20台 (国産丸鋸第1号製造から
100周年記念)
- ・ 2023年3月 20台 (設立110周年記念)
- ・ 2024年3月 20台 (本社及び工場の袋井市移転から
40周年記念)



袋井市役所での贈呈式 (2024年)
左:大場袋井市長 中央:大石社長

・ 2025年3月にも20台の贈呈を予定しています。

2年連続
最高位受賞

アマタ最優秀廃棄物管理賞2024にて
最高位のプラチナレベルを受賞

6 安全な水とトイレ
を世界中に



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



16 平和と公正を
すべての人に



連結子会社である天龍タイが、所在地であるアマタ工業団地で実施された「アマタ最優秀廃棄物管理賞2024/AMATA Best Waste Management Awards 2024」において昨年に続き、最高位の「プラチナレベル※」を受賞しました。

※本賞は、3R原則（リデュース・リユース・リサイクル）と埋立廃棄物の削減、その他廃棄物を適切で効果的に管理している企業をプラチナ、ゴールド、シルバーの3つの認定レベルで表彰しており、アマタ工業団地として産業廃棄物への意識を高め、効果的な管理を推奨することを目的としています。



6年連続
認定

健康経営優良法人
(中小規模法人部門)

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



10 人や国の不平等
をなくそう



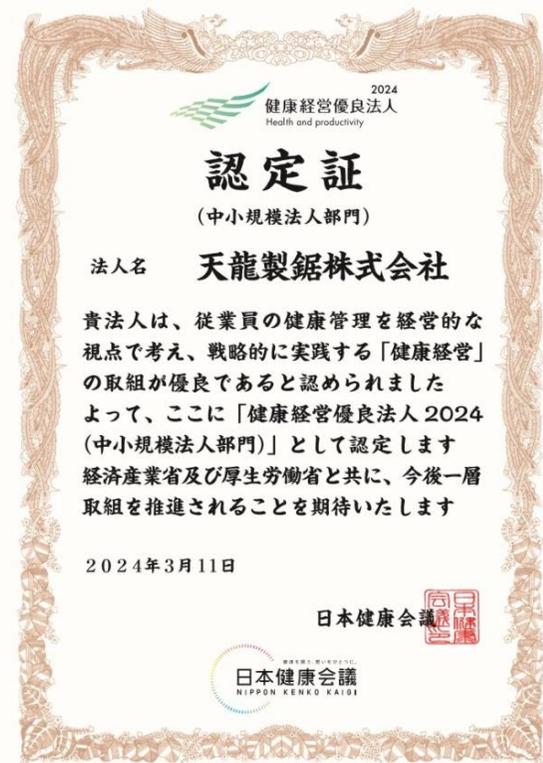
当社では、2019年から継続して健康経営優良法人の認定を受けております。

健康宣言を【SNS運動～「Sports（運動）・Nutrition（栄養）・Sleep（睡眠）」3本柱の推進～】として、従業員の健康づくりに取り組んでいます。

このほか、半年間で100万歩を目標とするウォーキング企画（現在2回目実施中）や健康に関する情報を社内ウェブサイトにて従業員に発信する取り組みをしています。



2024
健康経営優良法人
Health and productivity



ソーシャルボンド・ グリーンボンドへの投資

4 質の高い教育を
みんなに



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



10 人や国の不平等
をなくそう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



当社は、2021年よりソーシャルボンド・グリーンボンド等のESG投資を行っております。

今後も持続可能な社会の実現に貢献するために継続して投資を行う予定です。

ソーシャルボンド

銘柄 第65回日本学生支援債券
発行日 2021年11月9日
※ 2023年11月20日 償還済

銘柄 第74回日本学生支援債券
発行日 2024年2月7日

グリーンボンド

銘柄 静岡県第1回公募公債
発行日 2022年9月29日

銘柄 静岡県第2回公募公債
発行日 2023年8月16日

銘柄 静岡県第3回公募公債
発行日 2024年8月21日

その他の活動事例

関連する主なSDGs

女性活躍推進プロジェクト発足



浜松科学館サポーター会員



静岡県小さな親切運動参加
(ベルマーク等の回収・寄付活動)



ペットボトルキャップの回収・寄付活動



寄付型自動販売機の設定



地元女子サッカーチーム
静岡SSUボニータオフィシャルスポンサー



6. トピックス

太陽光発電設備導入の目的

中期経営計画（2024年度～2026年度）の重点戦略の一つである「脱炭素生産の確立」へ向けた具体的な取り組みとして、CO₂ 排出量削減と省エネ政策に貢献すること。



2月15日～2月18日時点発電量
6,181.5 kWh
(30日換算：約46,300 kWh)

太陽光発電設備の概要

設置場所	本社第二工場及び第三工場屋根上
運用開始日	2025年2月15日
パネル最大出力	494 kW
構成	太陽光パネル840枚 パワーコンディショナー285 kW
年間発電電力量	約 553,000 kWh（見込み）
年間CO ₂ 削減量	250トン（見込み）

2021年10月より始まった
パートタイマー社員登用制度

希望するパートタイマーを対象に社員へ登用するための試験を実施しています。

2024年10月1日、当制度による**初の合格者が2名**誕生しました。

2名は3ヶ月間の試用期間を経て、2025年1月1日に
見習社員から**社員へ本採用**となりました。

合格者に交付された辞令（見本）



天龍製鋸株式会社

ユースエール認定とは

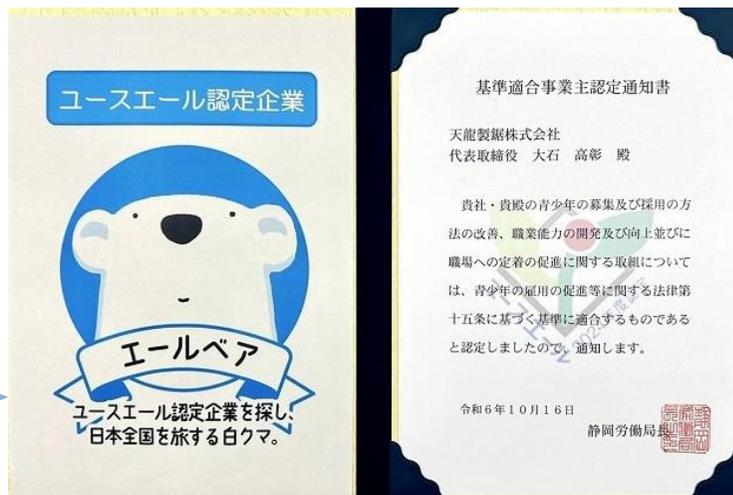
若者の採用・育成に積極的で、雇用管理の状況が優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度です。

当社は、若者の採用実績や定着率、働きやすい職場環境の整備、教育訓練の実施など、さまざまな基準をクリアし、静岡県内の認定企業26社のうち**袋井市では初の認定企業**となりました。



ユースエール認定マーク

ユースエール認定通知書



6. トピックス 【イブニングセミナー】



天龍製鋸株式会社
TENRYU SAW

44

「イブニングセミナー」と銘打って、講師を招いた自由参加型のセミナーを終業後に開催しています。今後も継続して開催する予定です。

開催日	セミナー
2023/8/4 (金)	第1回 金融セミナー
2023/11/10 (金)	第2回 金融セミナー
2024/2/15 (木)	第3回 金融セミナー
2024/8/2 (金)	第4回 金融セミナー
2024/10/25 (金)	社会保障制度の基礎知識
2024/11/22 (金)	住宅関連セミナー
2025/1/24 (金)	運動セミナー 「肩こり、腰痛を予防する運動」

NISAや
iDeCo等
資産形成に
ついて

ウェルビーイング経営
と人的資本経営の一環
として金融リテラシー
の向上と健康増進を
図っています。

本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定はご自身の判断にてお願いいたします。また本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。